

RJ-72

ワイヤレス式高感度セパレートレーダー探知機

- 取り付けが簡単で、装着が目立たないワイヤレス式セパレートタイプ
- ステルス型の取締りに対応するトラップ探知モード搭載
- X・Kツインバンド対応で、電波を確実に捕らえるDRO方式の高感度設計
- デュアル警報方式と段階的警報システムを採用した充実の警報機能
- ボイス/メロディ/電子音アラームを採用した3種類の警報音
- 渋滞や低速走行中の警報をカットするAAC-IIシステム
- 不要となった警報音を抑えるクワイアット機能とミュート機能

 **Super Cat**
安全運転を支えるテクノロジー



トラップ探知モード搭載
ステルス対応



Super Cat
安全運転を支えるテクノロジー

RJ-72

ワイヤレス式高感度セパレートレーダー探知機

- 取り付けが簡単で、装着が目立たないワイヤレス式セパレートタイプ
- ステルス型の取締りに対応するトラップ探知モード搭載
- X・Kツインバンド対応で、電波を確実に捕らえるDR0方式の高感度設計
- デュアル警報方式と段階的警報システムを採用した充実の警報機能
- ボイス/メロディ/電子音アラームを採用した3種類の警報音
- 渋滞や低速走行中の警報をカットするAAC-IIシステム
- 不要となった警報音を抑えるクワイアット機能とミュート機能



トラップ探知モード搭載
ステルス対応



RJ-72

ワイヤレス式高感度セパレートレーダー探知機

- 取り付けが簡単で、装着が目立たないワイヤレス式セパレートタイプ
- ステルス型の取締りに対応するトラップ探知モード搭載
- X・Kツインバンド対応で、電波を確実に捕らえるDRO方式の高感度設計
- デュアル警報方式と段階的警報システムを採用した充実の警報機能
- ボイス/メロディ/電子音アラームを採用した3種類の警報音
- 渋滞や低速走行中の警報をカットするAAC-IIシステム
- 不要となった警報音を抑えるクワイアット機能とミュート機能



RJ-72



T4968543100631

RADAR DETECTOR



Super Cat
安全運転を支えるテクノロジー

RJ-72

ワイヤレス式高感度セパレートレーダー探知機

- 取り付けが簡単で、装着が目立たない

ワイヤレス式セパレートタイプ

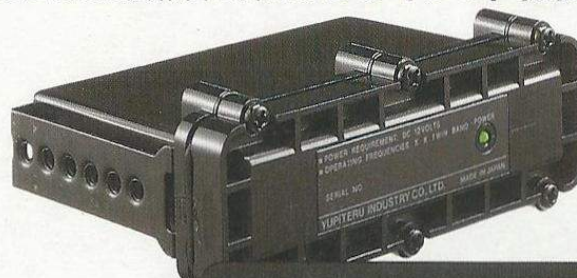
- ステルス型の電波を受信すると、特別な警報音で知らせる

トラップ探知モード搭載

- X・Kツインバンド対応で、電波を確実に捕らえる

DRO方式の高感度設計

- デュアル警報方式と段階的警報システムを採用した**充実の警報機能**
- ボイス/メロディ/電子音アラームを採用した**3種類の警報音**
- 渋滞や低速走行中の警報をカットする**AAC-IIシステム**
- 不要となった警報音を抑える**クワイアット機能**と**ミュート機能**



トラップ探知モード搭載
ステルス対応

12V車専用



特許出願中

保証書

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、
無料修理を行うことを、お約束する
ものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、
故障が発生した場合には、本書をご
提示のうえ、お買い上げの販売店に
修理をご依頼ください。

ユピテル工業株式会社

本社：〒108 東京都港区芝浦4-12-33
お客様ご相談センター：TEL.(045)971-8081

品番		RJ-72	
S/No.			
お買い上げ年月日			保証期間 1年
19	年	月 日	
お客様	お名前	様	
	ご住所	TEL.()	
販売店	店名・住所	〒	
		上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。	

〈無料修理規定〉

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談窓口一覧等に記載のお客様ご相談センターまたは最寄りの弊社営業所へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下時による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落電、その他の天災地変、公害、異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 船舶への搭載等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

該当する故障項目に○をつけてください。

- 電源が入らない ●受信しない ●警報音が鳴らない
- 警報音が止まらない ●スイッチ類・その他の不良

症状をなるべく詳しくご記入ください。

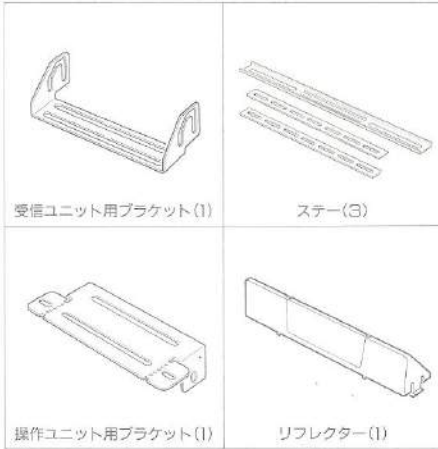
「故障内容」「取り付け車種・年式」

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口一覧等に記載のお客様ご相談センター、または最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。



- はじめにこの説明書をすべて読み、内容をよくご理解いただいてから作業を進めてください。
- ご自分での取り付けが困難な場合は、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご相談ください。

1 取り付け用付属品



- 〈その他〉
- ・受信ユニット用ビスセット(1)
 - ・操作ユニット用ビスセット(1)
 - ・ダイヤルセット(1)
 - ・マジックテープ(1)

2 作業上のご注意

- 本機は12Vのマイナスアース車専用です。
- 取り付け作業は、必ずエンジン冷間時に行ってください。
- 作業中のショート事故防止のため、接続するときは、バッテリーのマイナス端子をはずしてから作業してください。なお、ナビゲーションコンピューターなどを搭載した車では、バッテリーのマイナス端子をはずすと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- 各ユニットの取り付けは、コードの長さや配線場所、操作性などを十分考慮して、位置や向きを決めてください。

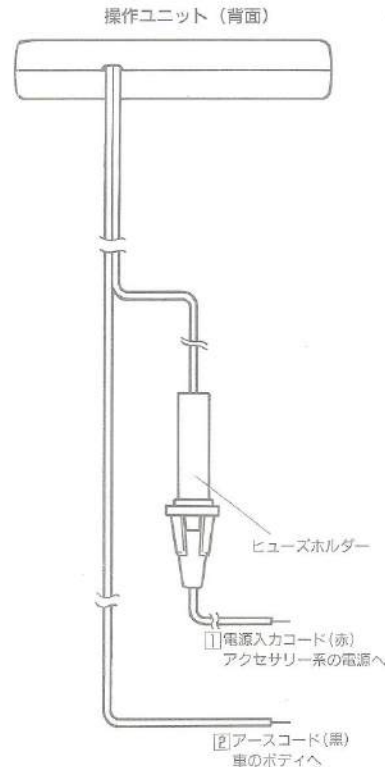
受信ユニット、操作ユニットの電源コードは、取り付けの車種によって、長すぎる場合もあります。コードを短く切断して接続してしまうと、正常に動作しないことがありますので、コードは絶対に切断しないでください。

3 操作ユニットの取り付けかた

●ダッシュボードの下など運転の妨げにならず、ヒーターの熱風を直接受けない場所に取り付けます。

コードの接続

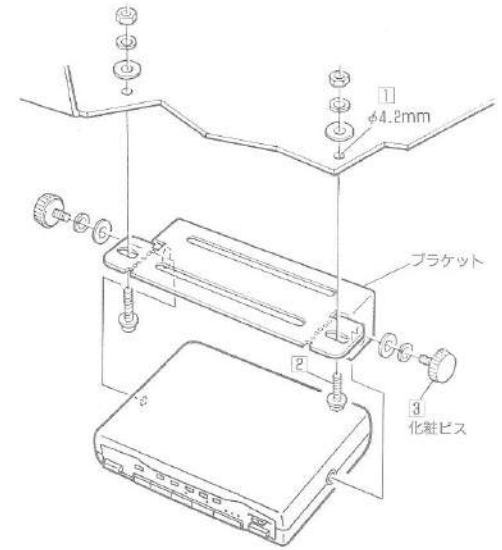
- ①電源入カコード(赤)の接続
エンジンの始動/停止と連動しているアクセサリ系(ACC)系の電源に接続します。
- ②アースコード(黒)の接続
車の塗装されていない金属部分(ボディアース)に接続します。



アースコード(黒)をバッテリーのマイナス端子に接続しないでください。正常に動作しなかったり、故障の原因となります。

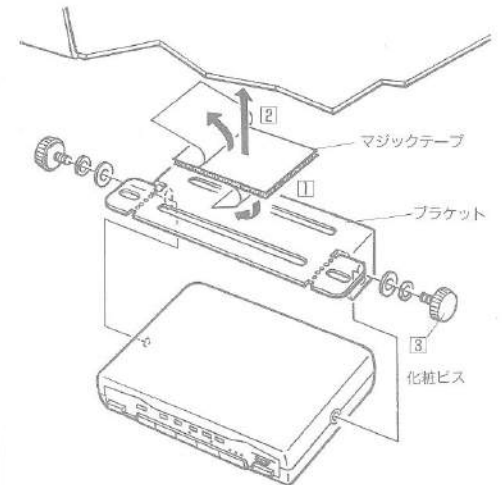
ビスとナットによる取り付け

- ①取り付ける場所にブラケットをあて、ドリルなどでビス穴(φ4.2mm)を2ヶ所に開けます。
- ②ビスとナットを使用し、ブラケットを固定します。
- ③化粧ビス2本を使用し、操作ユニットをブラケットに取り付けます。



マジックテープによる取り付け

- 貼り付け部分は、あらかじめよくクリーニングし、チリや汚れ、脂分などを落とします。
- ①マジックテープの台紙をはがし、ブラケットに貼り付けます。
 - ②もう一方の台紙をはがし、ダッシュボードに貼り付けます。
 - ③化粧ビス2本を使用し、操作ユニットをブラケットに取り付けます。



ご注意

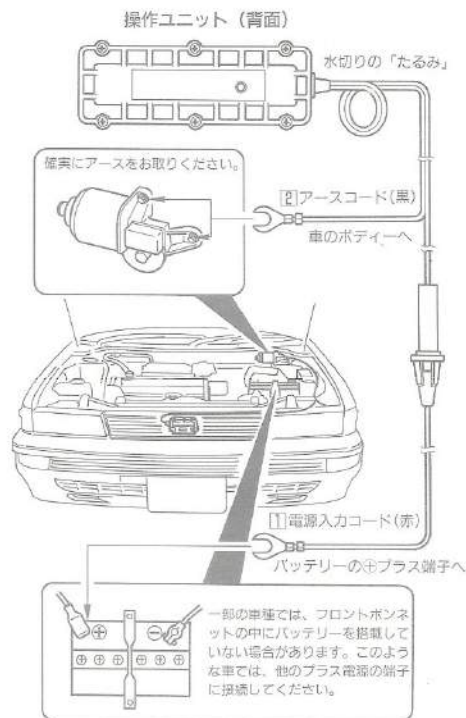
マジックテープの貼り直しは、著しく接着力を弱めますので慎重に行ってください。

4 受信ユニットの取り付けかた

●アンテナ面前方が、完全に覆われてしまわない場所に取り付けます。

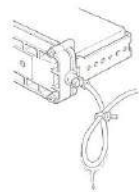
コードの接続

- 電源入力コード(赤)の接続
バッテリーの⊕プラス端子に接続します。
- アースコード(黒)の接続
車の塗装されていない金属部分(ボディアース)に接続します。



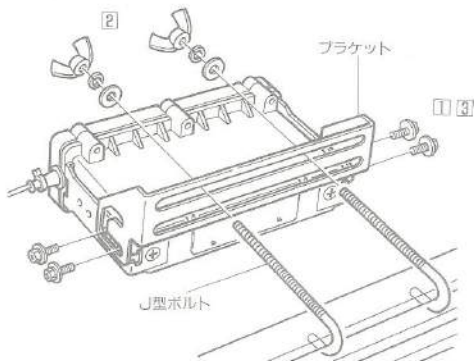
配線処理

- エンジンルーム内にあるコードはエンジンの真上など高熱を受けないような場所、車室内のコードは運転操作の支障とならない場所を通し、付属のタイラップを使って配線してください。
- 受信ユニットから出るコードは、内部に雨水などの湿入を防ぐため、水切りの処理を行ってください。



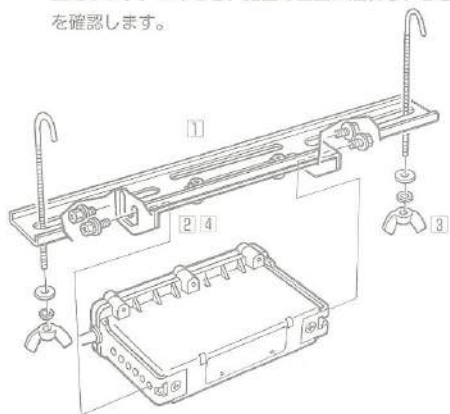
フロントグリルへの取り付け(水平取り付け)

- 1) ブラケットをユニットに六角ビス(短)で仮止めします。
- 2) フロントグリルの格子にJ型ボルト2本を通し、蝶ナットで固定します。
- 3) ユニットが道路に対して水平になるように調整し、固定します。



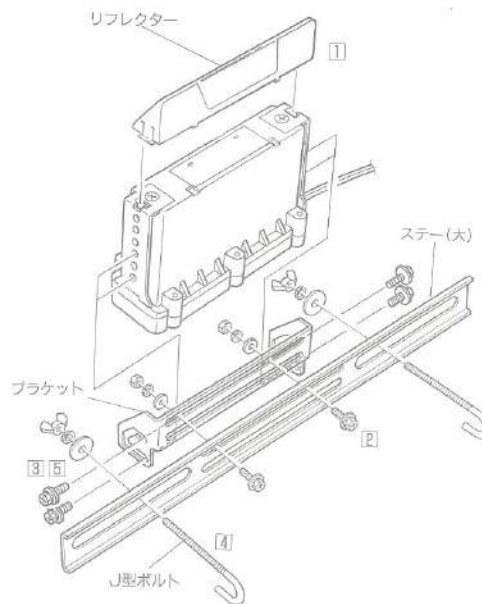
バンパーの下などへの取り付け

- 1) ステー(大)をブラケットに六角ビス(長)とナットを使用して、固定します。
- 2) ブラケットをユニットに六角ビス(短)で仮止めします。
- 3) ステー(大)をバンパー下などの穴に、J型ボルトと蝶ナットで固定するか、車に付いているボルトナットを利用して固定します。
- 4) ユニットが道路に対して水平になるように調整し、固定します。このとき、路面の凹凸に触れないことを確認します。



フロントグリルへの取り付け(垂直取り付け)

- 車種によっては受信ユニットをなで位置に取り付けてください。
- 1) 付属のリフレクターの凸部分をユニットの凹部分にくるように差し込みます。
 - 2) ステー(大)をブラケットに六角ビス(長)とナットを使用して、固定します。
 - 3) ステー(大)のついたブラケットをユニットに六角ビス(短)で仮止めします。
 - 4) フロントグリルの格子にJ型ボルト2本を通し、ブラケットを蝶ナットで固定します。
 - 5) ユニットが道路に対して垂直になるように調整し、固定します。



- 格子の間隔が広い場合や、ブラケットを固定しづらいときは、六角ビス(長)とナットを使って、一旦ブラケットとステー(大)を固定してご利用ください。
- ステー(小)は、ユニットを固定しづらいときなどに、切ったり、曲げたりしてご利用ください。

5 動作確認

取り付け、接続が終了したら、バッテリーのマイナス端子を元に戻し(接続)て、動作の確認をしてください。

- 受信ユニット
エンジンの始動(動作)/停止に合わせて電源ランプが点灯/消灯することを確認します。
- 操作ユニット
エンジンを始動し、電源ボタンを押すとパイロットランプが点灯し、エンジンを停止するとパイロットランプが連動して消灯することを確認します。
- 受信ユニットと操作ユニットの伝送状態
操作ユニットの電源ボタンが押された状態で、エンジンを始動します。このとき、エンジンの始動に連動して警報が入り、警報音が数秒間鳴ることを確認します。
- AAC-IIシステムの動作確認
取扱説明書9ページを参照し、動作を確認します。

*本書に記載の取り付けかたは、標準的な車を対象にしています。付属品での取り付けが困難なときは、市販のステーなどを利用して取り付けてください。

RJ-72

お問い合わせは
お客様相談センター TEL.(045)971-8081へ
ユピテル工業株式会社
〒108 東京都港区芝浦4-12-33

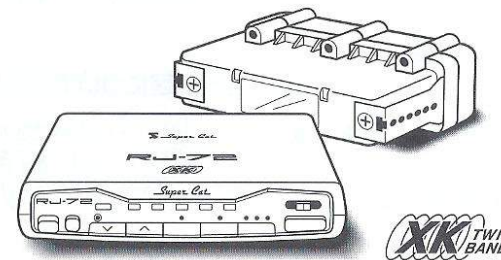
26040042

ワイヤレス式高感度セバレットレーダー探知機

RJ-72

取扱説明書

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、取締りレーダー波の存在を前もってお知らせする受信機です。この取扱説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、保証書、お客様ご相談窓口一覧と一緒に大切に保管してください。



RJ-72



目次	
はじめに	主な特長 2 ご使用にあたって 2 各部の名称とはたらき 4
使いかた	音量/警報音/受信感度を設定する 6 AAC-IIの使いかた 8 トラップ探知モードにする 10 便利な機能について 11 警報機能について 12 受信しにくい場合 13
その他	取締りのミニ知識 14 故障かな?と思ったら 16 アフターサービスについて 18 仕様 19

主な特長

- 1 取り付けの簡単なワイヤレス式のセパレートタイプ。
- 2 ステルス型の取締りに対応する**トラップ探知モード**搭載。
- 3 DRO方式のマイクロ波モジュールで**高感度受信**を実現。
- 4 高い受信精度と選択度を実現するマイクロコンピューターによる**受信信号識別回路**。
- 5 将来の取締りに備えた**X・Kツインバンド**対応。
- 6 3種類の警報音(ボイスアラーム、メロディアラーム、電子音アラーム)とシグナルメーターで知らせる**デュアル警報方式**。
- 7 取締りレーダー波への接近に合わせて警報が変化する**段階的警報システム**。
- 8 ワンタッチで設定したエンジン回転数以下で走行中の警報音を自動的に鳴らなくする**AAC-IIシステム**。*
- 9 不要となった警報音を制御する**クワイアット機能**と**ミュート機能**。
- 10 受信ユニットは、過酷な使用環境に耐える**防水・防塵仕様**。

*一部の車種では、ご使用できないことがあります。

2

ご使用にあたって

使用上のご注意

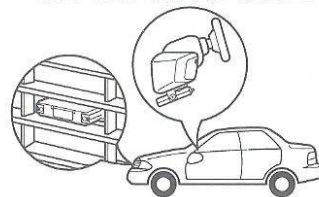
- 本機は、精密電子機器ですから、分解や改造は絶対しないでください。
- 本機は、赤外線や光電管、ワイヤレス式スピード測定装置には反応しません。
- 取締りレーダー波以外でも、同じ電波を使用している電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車両通過計測機などの周辺では、反応することがありますが、これは誤動作ではありませんのでご了承ください。

動作温度範囲について

- 本機は、-20℃~+85℃まで正常な動作が保証されています。夏、冬とも安心してご使用ください。

取り付けについて

- 取付説明書にしたがって、正しく取り付け(接続)を行ってください。
- ご自分で取り付けが困難な場合は、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご相談ください。
- 操作ユニットと受信ユニット間の伝送は車内配線を使って行っています。操作ユニットの電源ボタンを押した状態で、車のエンジンを始動させたとき、警報音が鳴らない場合は、ユニット間の伝送がうまく行われていません。各コードの接続場所を変えてもう1度お試しください。



セット内容

- 取り付け/使用前にお確かめください。

- | | |
|------------------|------------------|
| ●操作ユニット(1) | ●受信ユニット(1) |
| | |
| ●操作ユニット用ブラケット(1) | ●受信ユニット用ブラケット(1) |
| | |
| ●ステー(3) | ●リフレクター(1) |
| | |
| ●操作ユニット用ビスセット(1) | ●取付説明書(1) |
| ●受信ユニット用ビスセット(1) | ●保証書(1) |
| ●マジックテープ(1) | ●お客様相談窓口一覧(1) |
| ●取扱説明書(1) | |

本機を取り付けてのスピード違反に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心掛けください。

3

各部の名称とはたらき

本体

パイロットランプ
電源が入ると点灯し、動作状態を色で表示します。
(9ページ)

電源ボタン[POWER]
電源の入/切ができます。
(6, 8ページ)

トラップボタン[TRAP]
トラップ探知モードの設定/解除ができます。
(10ページ)

トラップ探知ランプ
トラップ探知モードにすると点灯します。
(10ページ)

音量ボタン[∨, ∪]
警報音の音量調節ができます。
(6ページ)

シグナルメーター [1~5]

受信している取締りレーダー波の強さに応じて、点灯数が左から右へ増えていき、右に達すると、すべてが点滅します。(10, 12ページ)

クワイアットボタン/ランプ[QUIET]
クワイアット機能の設定/解除ができます。
設定中はランプが点灯します。(11ページ)

感度ランプ[N, S, U]
設定している受信感度を表示します。
(7ページ)

警報音セレクトスイッチ[A, M, V]
警報音が切り替わります。
(7ページ)

テスト&ミュートボタン[T/M]
警報機能の確認や、ミュート機能を使うとき
押します。(6, 11ページ)

受信感度セレクトボタン[SENS]
走行環境や条件に合わせて受信感度が選べます。
(7ページ)

AAC-IIボタン/ランプ[AAC-II]
AAC-IIシステムの設定/解除ができます。
設定中はランプが点灯します。(8ページ)

ヒューズホルダー

受信ユニット

アンテナ
取締りレーダー波を受信します。

電源ランプ
エンジンを始動させると点灯し、
停止すると消灯します。

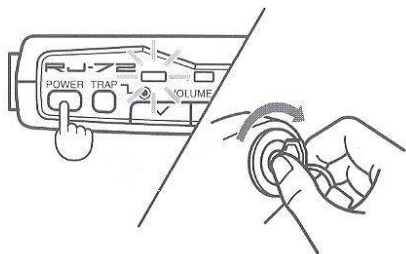
ヒューズホルダー

音量／警報音／受信感度を設定する

設定は、必ず停車中にサイドブレーキを確実にかけて行ってください。

1 電源を入れる

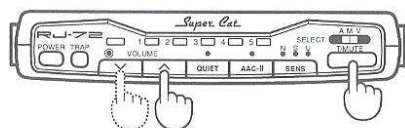
電源ボタンを押した状態にして、車のエンジンを始動します。



→ ユニット間の伝送がうまく行われているときは、警報音が数秒間鳴り、パイロットランプが点灯します。

2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ボタンを押します。



△：音量が大きくなります。
▽：音量が小さくなります。

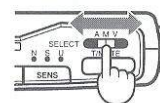
→ テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音が鳴り続けます。



注意 テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能がはたらく場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能がはたらき、警報音が止まります。(11ページ参照)

3 警報音を選ぶ

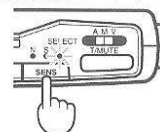
警報音セレクトスイッチで切り替えます。



A：電子音アラーム
M：メロディアラーム
V：ボイスアラーム

4 受信感度を選ぶ

受信感度セレクトボタンを押します。



N：ノーマル感度
S：スーパー感度
U：ウルトラ感度

→ 選んだ感度の感度ランプが点灯します。

受信感度について

受信感度が高いほど、速くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信してしまいます。市街地を走るときはノーマル感度、高速道路を走るときはウルトラ感度にするなど、走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。

受信感度		走行環境や条件
低い ↓ 高い	ノーマル感度	市街地
	スーパー感度	市街地や郊外
	ウルトラ感度	郊外や高速道路



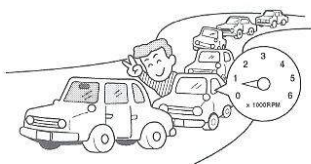
メモ 本機は車のアクセサリ系の電源に接続しているため、電源ボタンを押した状態にしておけば、エンジンの始動／停止に連動して、電源の入／切ができます。通常は電源ボタンを押した状態で使用できます。(ただし、長期間で使用にならないときは、電源ボタンを切ってください)

AAC-IIの使いかた

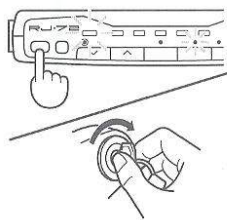
設定は、必ず停車中にサイドブレーキを確実にかけて行ってください。

AAC-IIのしくみとはたらき

車のオルタネータ(発電機)から出ているパルスノイズの周波数変化でエンジンの回転数を算出し、設定したエンジンの回転数以下で走行しているときや、停車中の警報音を抑えます。



1 電源を入れる



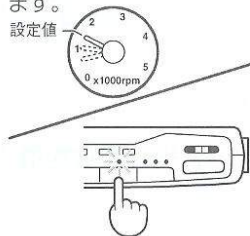
→ 警報音が数秒間鳴り、パイロットランプとAAC-IIランプが点灯します。



メモ AAC-IIランプが点灯しない場合は、点灯するまでAAC-IIボタンを押し続けてください。

2 回転数を設定する

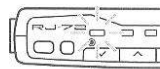
アクセルを軽く踏み、希望の回転数になったとき、AAC-IIボタンを押します。



アイドリング状態より約200~300回転高くします。

→ 「ポポッと」鳴ります。(設定終了)

3 動作を確認する



→ 設定したエンジンの回転数以上にして数秒後に、パイロットランプが赤色から緑色に変わります。

設定値を変更するには

AAC-IIランプが点灯中に、希望の回転数にして、AAC-IIボタンを押します。

AAC-IIを解除するには

AAC-IIランプが消灯するまで、AAC-IIボタンを押し続けます。

パイロットランプの点灯色について

点灯色で動作状態がわかります。

点灯色	警報機能
赤色	警報音が鳴らない
緑色	警報音が鳴る

注意



- パルスノイズの情報が少ない車種では、まれにAAC-IIが正常にはたらかないことがあります。このようなときは、AAC-IIを解除してご使用ください。
- エンジンの回転数は、法定速度以下ではたらくように設定してください。
- エアコンをお使いの場合は、エアコンを入れた状態で設定してください。
- ワイパーやライト類を使ったときにエンジンの回転数が変化する場合は、それらを使用した状態で設定し直してください。
- A/T車でAAC-IIをお使いの場合は、下り坂などでアクセルを戻すと、スピードが出ていてもエンジンの回転数が設定値以下となって、警報音が鳴らないことがあります。
- 一部のA/T車では、アイドリング状態で、シフトがドライブ(D)のときは正常に動作するが、ニュートラル(N)にするとパイロットランプが緑色に点灯することがあります。このようなときは、エンジンの回転数を少し高めに設定してください。

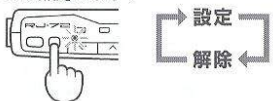
トラップ探知モードにする

ステルス型など、狙い撃ち的な電波を受信した場合、設定した警報音とは違うニアミスアラームが鳴ります。

<トラップ探知モード中の警報>

電波の種類	アラームランプ	警報音
ステルス型の電波	1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5 □ いざなり3つ以上点灯します。	ニアミスアラームが鳴ります。
通常の電波	1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5 □ 段階的に点灯数が増えます。	設定している警報音が鳴ります。

トラップボタンを押すたびに切り替わります。(設定中は、トラップ探知ランプが点灯します)



- トラップ探知モードはステルス型の取締り機に対し、完全対応というわけではありません。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもあり、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ニアミスアラームが鳴ることがあります。

狙い撃ち的な電波について

レーダー探知機対策として導入されているステルス型の取締りとは、必要となるときのみ短時間電波を放射する狙い撃ち的な取締り方法です。そのため従来機では、受信できても『ちょっと鳴っただけだから』ということになります。本機は、基本感度、応答性の向上とともに、ステルス型の特性である「短時間で強い電波」を受信すると、特別な警報音(ニアミスアラーム)を鳴らすトラップ探知モードを搭載しています。

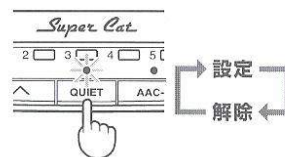
便利な機能について

クワイアット機能

- 約3秒後に警報音を小さくします。

取締りレーダー波受信時の警報音の音量が約3秒後に自動的に小さくなります。

クワイアットボタンを押すたびに切り替わります。(設定中は、クワイアットランプが点灯します)

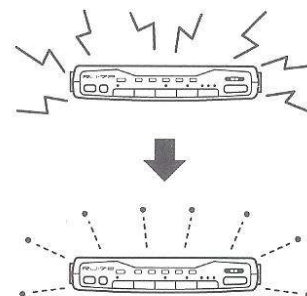


クワイアット機能を使わない場合でも、警報音が約20秒間続くと、音量は自動的に小さくなります。

ミュート機能

- 取締りの発信源を確認したあとに使用します。

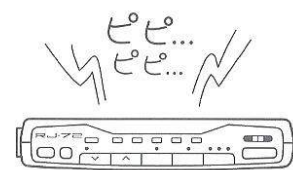
警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。



ターン・オン・ビーブ

- 電源の入れ忘れを防止します。

エンジンを始動させたとき、警報音(ニアミスアラーム)が数秒間鳴って、電源が入ったことをお知らせします。

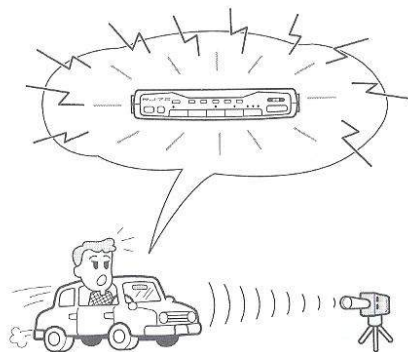


警報機能について

本機は、デュアル警報方式と段階的警報システムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

デュアル警報方式

3種類の警報音(ボイスアラーム、メロディアラーム、電子音アラーム)とシグナルメーターで、耳と目に伝えます。



段階的警報システム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近に合わせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	
警報音(ボイスアラーム)	電波の強さに応じて変化します。 ビンポン → 危険です → 危険です!!
シグナルメーター	左から右へ点灯数が増し、右端に達すると、すべてが点滅します。 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5 □

受信しにくい場合

電波を受信しにくいことがあるため、注意が必要です。

電波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、電波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



〔前に走行中の車がある〕 〔コーナー〕 〔下り坂〕

- 対象の車が近くに来るまで、電波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。(10ページ参照)

新型オービスについて

新型オービス(Hシステム)のスピード測定装置は、取締りレーダー波と同じ周波数で、違う種類の電波を使用しているため、探知距離が多少短くなることがあります。このシステムでは、事前に「速度オーバー」、「速度超過」などの警告が標示板に出ますので、これらの警告を見かけたら注意が必要です。



電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車両通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

取締りの三知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

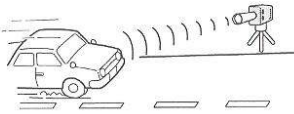
スピード違反の取締り方法 大きく分けて3つの方法があります。

追走して測定する方法 ● 追尾方式

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

電波を使って算出する方法 ● レーダー方式

電波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



距離と時間で算出する方法 ● 光電管式、ループコイル式

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。

メモ 測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や埋め込みの磁気スイッチなどが使われています。

メモ 現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流となると思われます。

取締りレーダー波について

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。

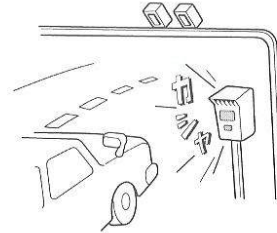


メモ 取締りレーダー波は、直進性が強いいため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

自動速度取締り機 ● オービスIII

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。


Kバンドについて

Kバンドは、米国ですでに使用されている取締りレーダー波の周波数で、将来、日本国内でも採用される可能性があります。本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、Kバンドも受信できるX・Kツインバンド対応です。

本機はレーダー方式のスピード測定装置に対応します。
※探知距離は、走行環境、測定条件などにより変わることがあります。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●各ユニットのコードの接続を間違えていませんか。(取付説明書参照) ●各ユニットの電源入力コード(赤)についているヒューズホルダー内のヒューズが切れていませんか。切れていた場合は、同一容量の新しいヒューズと交換してください。 
エンジンを止めて、イグニッションキーを抜いても、電源が切れません	<ul style="list-style-type: none"> ●操作ユニットの電源入力コード(赤)がエンジンと始動/停止と連動しているアクセサリ(ACC)系の電源に接続されていますか。(取付説明書参照)

症 状	チェック項目
反応(警報)しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入っていますか。操作ユニットのパイロットランプと、受信ユニットの電源ランプの点灯を確認してください。 ●操作ユニットと受信ユニット間の伝送がうまく行われていますか。(3ページ参照) ●警報機能が正しくはたらきますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。(6ページ参照) ●パイロットランプが緑色で点灯していましたか。赤色で点灯していた場合は、AAC-IIのはたらくエンジンの回転数を適切に設定し直してください。(9ページ参照) ●取締りレーダー波が発射されていたか。取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(とくにオービスIIIではよくあります) ●取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。
取締りもしていないのに、警報機能がはたらく	<ul style="list-style-type: none"> ●取締りレーダー波と同じ電波が他にも使用されています。それらの電波を受信すると、警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんのでご了承ください。 <p><取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器></p> <ul style="list-style-type: none"> •電波式の自動ドア、防犯センサー •信号機の近くに設置されている車両通過計測機 •NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部 •気象用レーダー、航空レーダーの一部 •他のレーダー探知機の一部

※ 正常に受信するかどうかの確認は、電波式の自動ドアや、販売店のチェック用発信機で行うことができます。

アフターサービスについて

1.保証書(別に添付してあります)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げの日から1年間です。

3.修理をご依頼される時

- 「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、氏名、住所、電話番号、品番、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。
- 保証期間中のとき
保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。
- 保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

4.アフターサービス等についてご不明の点は

お買い上げ販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にお問い合わせください。

仕様

電源電圧	12V(マイナスアース車専用)
消費電流	操作ユニット：85mA以下(待機時)、250mA以下(最大) 受信ユニット：140mA以下(待機時)、5mA以下(エンジン停止時)
受信方式	スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイナ方式
受信周波数	Xバンド、Kバンド
動作温度範囲	-20℃～+85℃
本体外形寸法	操作ユニット：91(W)×18(H)×68(D)mm 受信ユニット：94(W)×37(H)×63.5(D)mm
本体重量	操作ユニット：99g 受信ユニット：172g

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

安全に正しくお使いいただくために

安全上のご注意



このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので必ず守ってください。



警告

警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

絵表示について















△記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

●記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

警告

 水をつけたり、水をかけない、また、ぬれた手で操作しない（操作部） 火災や感電、故障の原因となります。	 電源コードや中継コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、コードが痛んだら使用しない 感電やショートによる発火の原因となります。
 エンジンルーム内の中継コードは、エンジンなどの高熱部に触れないように配線する 火災や感電、故障の原因となります。	 表示された電源電圧以外では使用しない 火災や感電、故障の原因となります。
 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない 感電や故障の原因となります。	 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に確実に取り付ける 誤った取り付けは、交通事故の原因となります。また、落ちたりして、ケガの原因ともなります。
 機器本体および付属品を改造しない 火災や感電、故障の原因となります。	
 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない 発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。	 運転中は絶対に操作しない わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、サイドブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
 警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない 走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。	 万一、キャビネットを破損した場合は、すぐに使用を中止する そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
 サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない 感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。	

日頃から安全運転にお心がけください

このレーダー探知機は、取締りレーダー波の存在を前もってお知らせする受信機です。レーダー方式以外の赤外線や光電管式、ワイヤー式などのスピード測定装置には反応しません。また、電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車両通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。「いつも鳴るから」と安心せずに注意してください。

※探知距離は、走行環境、測定条件などにより変わることがあります。

販売店のご紹介やお取扱方法、修理サービスについてのご相談は、お買い上げの販売店または下記のご相談窓口にご相談ください。
 ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日9:00～17:30です。ただし、土曜日、日曜日、祝祭日およびその振替日は受け付け致していません。

■製品相談 (製品のお取り扱い方法についてのご相談、カタログのご請求) お客様ご相談センター ☎(045)476-0161

■買物・修理相談 (販売店のご紹介や修理サービスについてのご相談)

買物	修理	地 区	名 称	電話番号	所 在 地
○	○	北海道	札幌営業所・サービス部	(011)521-7071	〒064 北海道札幌市中央区南八条西17丁目
○	○	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部	(022)284-2501	〒984 宮城県仙台市若林区卸町東1-5-10
	○	栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・ 神奈川・山梨・長野・新潟・静岡	東日本サービスステーション	(045)476-0180	〒222 神奈川県横浜市港北区新横浜2-18-13 藤和不動産新横浜ビル6F
○	○	栃木・群馬・茨城・埼玉・新潟	大宮営業所・サービス部	(048)653-2888	〒330 埼玉県大宮市東大成町1-548-1 TGCビル1F
○	○	東京区部・千葉	東京中央営業所・サービス部	(03)3769-2525	〒108 東京都港区芝浦3-19-19 辻田ビル1F
○	○	東京市部・神奈川・山梨・長野・静岡	西東京営業所・サービス部	(0425)28-1600	〒190 東京都立川市錦町1-7-18 立川エフビル4F
○	○	岐阜・愛知・三重	名古屋営業所・サービス部	(052)461-1281	〒453 愛知県名古屋市中村区中村町6-5
○	○	富山・石川・福井	金沢営業所・サービス部	(0762)91-5871	〒921 石川県金沢市入江3-115
	○	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	西日本サービスステーション	(06) 386-1470	〒564 大阪府吹田市豊津町10-26
○	○	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・ 和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪中央営業所・サービス部	(06) 386-2555	〒564 大阪府吹田市豊津町10-26
○	○	鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部	(082)230-1711	〒733 広島県広島市西区大芝2-9-2
○	○	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・ 宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部	(092)552-5351	〒815 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
 ●電話をおかけになる際は、市外局番などをお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください。